

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスとらこや		
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日		令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日		令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(療育) ・運動教室(2回/週) ・グループSST、個別	専門職のアドバイスのもと、定期的に評価をおこない利用児童の特性等を考慮しながら課題提供をおこなっている	
2	多職種連携 (専門職・看護師・医療等)	カンファレンスの充実。振り返りシートを活用したフィードバックを定期的におこない、評価・情報共有をおこなっている(医療機関や行政等にも)	研修会(内部・外部)への参加 事業所内での勉強会を開催し、質の向上に努めていく
3	インクルーシブ	・併設してある児童発達支援・児童クラブとの行事開催をしている ・同法人内の高齢者施設との交流(畑作業等) ・社会参加に向けての課外活動(長期休暇)	放デイ内で話し合い、計画を立てて、行事に取り組んでいく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋が狭い(窮屈さを感じる時がある)	定員人数においての部屋の広さはクリアしているが、全体的に利用児童が高学年化し、体の成長と共に放デイ室の狭さを感じる	遊戯室・個別室・作業部屋等、児童の様子によって、環境を提供していく(移動できる場所を作っていく)
2	個別対応の児童が増えてきたため、職員の手が足りない時がある	個別の対応が多いため、見きれなくなってしまう事がある 女性職員が多い中、利用児童は圧倒的に男子が多い。着替えやトイレ介助等も難しいところがある	ヘルプ要員をお願いし、個々に対応出来るように配慮していく
3	利用時間について	高学年の児童が増えたため、下校時刻が遅くなっている。	下校(来所)時間を考慮し、個別やグループSST、運動教室(療育)をしっかりとこなえるように調整をしていく。運動教室においては、バランスを考えて2部制としている

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		放課後等デイサービスとらこや		令和7年 3月 13		公表日 日		利用児童数 20		回収数 18	
		チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		89%			11%			活動内容によって、活動スペースを考慮しています	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		67%		6%	28%	・部屋の中まであまり見る機会がないので分かりませんが、大勢の職員の方がいらっしゃるので大丈夫だと思います	必要なスタッフの確保は出来ています。研修等を交えながら個々のスキルアップをおこなっています		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		89%			11%	・部屋の中まであまり見る機会がないので分かりません			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		89%			11%	・部屋の中まであまり見る機会がないので分かりません			
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		89%			11%				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		67%			22%				
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		100%							
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		89%			11%				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		89%			11%	・支援の様子を聞く機会がないので分からない	・支援の様子は、モニタリングでお話していくと共に、年に1～2回の保護者参観を実施し、放デイの様子を見てもらいます。聞きたい事等があれば、その都度対応していきます		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		83%			17%				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		67%			33%		併設している児童クラブとの交流は定期的におこなっていきます		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		100%							
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		100%							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		72%	11%		17%	・情報提供はあるが少ない、ペアレントトレーニングはないと思う ・家族等が参加できる研修会や講習会の情報はありがたいです	・引き続き外部の講習会・研修会等、保護者の方が参加できる内容があれば、積極的に情報を呼びかけていきます		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。		89%	11%			・本日の様子はよく教えてもらえるが、発達の様子は聞けてない ・共通理解できているか分からない	・児童の様子は、お迎え時に口頭でお伝えしています。発達や支援の様子について聞きたい事があれば、その都度時間を設けてお伝えします。スタッフ間での情報共有は、2回/月のカンファレンスでおこなっています		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		100%							
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		94%			6%	・共感的支援というものが分からない	・児童や保護者の気持ちに寄り添い、理解しながら支援の質を高めています		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。		50%	17%		33%	・同じような特性を持つお子さんの保護者の方との交流はあったら参加してみたい	・保護者参観週間を設け、放デイの様子を見学して頂きます ・インクルーシブの一貫として、「ハロウィンパーティー」のイベントを実施しています		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		89%	6%		6%					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	94%	6%			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	94%	6%			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	94%			6%	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	78%			22%	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	89%			11%	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	78%			22%	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	89%			11%	怪我や病気等が発生した際には、まずは看護師に伝え、指示を仰ぎます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	94%	6%		・行き渋りがある日でも着いてしまえばいつも通り過ごせるようなので良かった	・今後も子どもたちが楽しめるプログラムの設定や課外活動の実施等をしていきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	78%	22%			計画を通して、色々な経験をしていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	83%	17%			今後も利用児童や保護者の方が安心して療育を受けられる環境として、職員一同資質向上を図っていきます

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス とらこや				公表日	令和7年 3月 13日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	57%	43%		高学年が多い日は部屋が狭く感じる 落ち着けない子もいるためスペースを広く取りたい時がある 利用人数が多い日は、職員も含めると少し狭い		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	57%	43%		個別での対応が多く、配置は足りて居るが人員的には不足に感じる 1対1で対応が必要なことが多いときに人員が足りない 子供の人数に対して職員が少なく感じる日がある 現状よりは人手が必要に感じる		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		車いすも入れるように構造化されている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%			人数が多くなると夏場は空気が停滞してしまう（壁に扇風機の設置を画策中）		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		生活の部屋と別に個別室や遊戯室を使えるようにしている	個別訓練中は部屋が使えないので時間が限られる		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		モニタリングの時期には事前にかかわりを実施している			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎朝30分を設け、話せる環境を作っている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	43%	57%				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		内部研修を定期的に行っている 資質の向上のために自発的に研修に参加している 年に何回かの勉強会を行っている			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	86%	14%	モニタリング毎に確認していただいている			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		月に2回以上のかわりをしている			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	86%	14%				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		ガイドラインを基にかかわりを行っている			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		長期休み等のプログラム作成をしている 長期休みに外出等を行っている 長期休みを利用して普段と違う活動を行っている			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	86%	14%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	71%	29%		共有できる日もあるが児童の利用が長い日は次の日になる 振り返りは当日おこない、共有は翌日におこなっている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		半年毎に行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		視覚化された玩具のメニュー表を用いている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		必要な際には、事業所間での担当者会議を実施。児発管・スタッフの参加をしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		グループ内医療機関と連携している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	71%	29%		場所によってできていない所がある 予定確認は、学校からの予定表で確認。必要に応じて口頭伝達をしている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	71%	29%		グループ内のこども園との連携をおこなっている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	71%	29%		前例がないので分からない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	57%	43%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	86%	14%	児発や学童との交流がある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	71%	29%	放デイ連絡会(年3回)	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	86%	14%	連絡帳でのやり取りをしている 引き渡し時に話せる時間を持っている	保護者の理解に応じて、達成が難しい時があった。じっくりと話が出来る場を設けたり、解決出来る方法を採り対応している
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	86%	14%	保護者会・参観など行っている 保護者参観で外部講師を招いての講義を開催した	参観日に少し交流していただいているが、交流目的としては開催できていない。今後は、交流会含め家族支援が出来る場を提供していきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		モニタリング等で行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		その都度、またはモニタリング時に行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	71%	29%	年1回の参観週間を設けている 児発・学童・放デイ合同の行事を開催している	交流会は出来ていないが、参観週間を設けたり、3部署合同のイベントを開催し、少しでも交流が出来る機会を作っている
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情があった場合は、速やかに上司に報告。事業所内で改善策話し合い、保護者に報告している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	86%	14%	HPもを活用し発信している とらこやだより1回/月配信、お知らせ…随時、写真アップ(購入)	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		保護者とは、連絡帳を活用したり、迎え時に伝達をしている	利用児童には、視覚化をしたり絵カード、手話等1人ひとりの様子により方法を考えている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	43%	57%		地域住民を招待する行事はないが、見学は随時おこなっている。近隣施設や隣接している高齢者施設と一緒に開く畑作業等をおこなっている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	71%	29%		職員への周知は行っているが、家族へはおこないきれていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	86%	14%		年数回程度行っているがもう少し頻度を上げて良いと感じる
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	71%	29%		確認はしているが不安は残る 更新が適切か分からない
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	71%	29%	年度初めのアレルギー確認を実施。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		月に1回の委員会を行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		月に一回の委員会とを行っている 委員会で研修を開催している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	86%	14%	契約時に説明している	説明が完全でなく、これからも説明を続けていかななくてはと思う	